



傘作りのご紹介



しゃんしゃん傘は職人たちの技術の結晶！

貴重な材料をひとつひとつ丁寧に組み立てて装飾し、手間暇をかけて傘が作られています。

祭りではしゃんしゃん傘ならではの美しさにもご注目ください。

本市の伝統工芸品
「因州和紙」の職人による

【手すき和紙】

手すき和紙は丈夫さに加え発色が良く、砂丘の赤、日本海の青が鮮やかに表現される一級品！

【傘骨】

傘踊りの動きに耐える30本の傘骨は、通常の和傘より太く頑丈な特別製！

「和傘」作りを支える
県外職人による

【ろくろ】

傘骨を束ねる「ろくろ」は踊りの最中に大きな力が加わる重要な部品。衝撃に耐えられる丈夫な木材は希少なうえ、現在製造しているのは日本で1軒のみの貴重な部品！

伝統技術の継承

令和6年度より本市内唯一の傘生産事業者である「竹扇堂」の株本覚さんちくせんどう かぶもとさとるのご指導のもと、2人の後継者育成を行ってきました。今年2月、株本さんのご逝去に伴う竹扇堂の廃業を受けて、今後は後継者を中心に傘作りを進めます。本市では材料の調達や仕入れから生産・供給について、鳥取しゃんしゃん祭振興会と連携しながら取り組んでいきます。



後継者による傘作り

3Dプリンターによる新たな傘作り

鳥取刑務所と協力し、新たな試みとして3Dプリンターで作製した材料を使った傘の製作に挑戦しています。今年の祭りでは、3Dプリンターで作製した傘の耐久テストを行い、今後の実用化を目指します。



3Dプリンターで作製したろくろと傘骨

鳥取しゃんしゃん祭振興会より

この度はたくさんの傘をご寄贈いただきありがとうございました。みなさんのご協力により、今年も多くの踊り子が祭りに参加できる環境が整いました。今後も安定的な傘の生産・供給の体制づくりに取り組みます。引き続き温かいご支援をよろしくお願いいたします。



安全・安心な祭りにするための取り組み



近年の気温上昇による熱中症リスクの高まりや、祭り開催中の自然災害の発生などに適切に対応するため、緊急時の連絡体制や安全対策を強化し、踊り子や来場者のみなさんが安全・安心に祭りを楽しめる環境づくりを推進します。



祭りを安全・安心に楽しむために

- ・こまめな水分、塩分補給を心がけてください。
- ・十分な食事と睡眠をとり、体調を整えてご来場ください。
- ・体調に不安がある人は、無理をせず参加や観覧をお控えください。

体調に不安を感じたら看護師詰所へ！



この旗が目印！

《看護師詰所一覧》

第1部 17:00～開設

- ① まちパル鳥取 2階 ※【救護本部】
- ② パレットとっとり 2階
- ③ まちやど OTTORI えびすまち
- ④ BAKERY MARKET こむ・わかさ
- ⑤ スカイパーキング鳥取駅前駐車場（新設）

第2部 19:00～以下を追加開設

- ⑥ アコヤ楽器店駐車場（新設）
- ⑦ 智頭街道商店街振興組合事務所 ※【サテライト救護本部】（新設）
- ⑧ 旧鳥取銀行西支店駐車場（新設）
- ⑨ 産業会館・鳥取商工会議所ビル 1階

災害対応マニュアルを作成しました

祭りの全参加者の安全を確保するため、想定される災害事象への対処方法をまとめた『災害対応マニュアル』を作成しました。

熱中症対策にクールシェルターをご利用ください

各施設の開館・営業時間中は、どなたでも自由に立ち寄り休憩できます。



◀クールシェルターの詳細、災害対応マニュアルはこちら
（鳥取しゃんしゃん祭振興会ウェブサイト）